

世界で初めて確立した立体和紙抄紙技術を活かし 一般市場向けにデザインした製品の開発と販路開拓



鳥取県青谷町は緑豊かな山地、清涼な滝や溪流、鳴り砂日本一の美しい砂浜が印象的な街である。

青谷和紙株式会社は大正後期の創業以来、当地で和紙づくりを行い技術を継承してきた。世界で初めて和紙を立体に漉く技術確立するなど、その卓越したアイデアと技術への評価は高い。

「残念ながら、現在、和紙の利用

略歴／昭和46年、滋賀大学経済学部卒業、日本生命入社。同48年、父死去により家業継承。同52年、谷口和紙株式会社に改組、代表取締役就任。平成6年、青谷和紙株式会社を設立、代表取締役就任。



代表取締役 谷口 博文

が減り、和紙づくりも衰退の途をたどっています。「和紙を今の時代によみがえらせた」というのが、今回事業申請したそもそもの動機です」と代表取締役谷口博文さん。

「私のテーマは、『現代に活きる和紙の開発』です。これまで中高年の主婦を主な対象とした手工艺的な和紙を、現代の若い女性をターゲットに現代的な感覚のステーションナリーやラッピングとして提案してきました。さらにはインテリアの分野で現代空間に合う壁紙や襖紙、スクリーンなどを提案。どうやったら再び和紙を現代に必要な物として活かせるかを模索してきました」

世界初の技術で「日本の灯り」を再現

今回事業申請したのが、和紙の灯

り。青谷和紙が培ってきた立体に和紙を漉く技術が、製品に遺憾なく発揮されている。

「世界初の和紙を立体的に漉く技術を応用した『AOYA washi lamp』というブランドです。コレクターの方たちにも喜ばれるようなデザインを実現しています。たとえば仕事から疲れて帰ってきた時、自宅のサイドボードに置いてある和紙のランプを灯し、ホッとくつろいでいただけような、そんな製品を目指しました。谷崎潤一郎が『陰翳礼讃』で「障子紙を通したあかりというものが日本の一つの文化だ」と記しています。ガラスを通した直射の光は、その部分は明るいが奥の方はどうしても暗くなってしまふ。しかし、障子紙を透過した光は攪乱されて、その部屋の奥まで届き、部屋全体をほんのりと明るく照らしてくれるのです。そ

ういった日本らしい灯りの良さを当社のランプで楽しんでもらえたら、と思います」

消費者のニーズに合う製品開発を

昨今は、「一室一灯」に代表されるような単に明るくするための照明ではなく、「一室多灯」が主流。室内に間接照明を上手に取り入れて、灯りを楽しむような暮らしに消費者の関心が集まっているという。従来の機能の重視ではなく、文化型の価値観すなわち「こんな灯りを楽しみたい」という個性、空間に深みをもたらすような灯りが求められている時代なのだ。

「当社が製造する AOYA washi lamp は、そういった消費者ニーズに見事に合致するものだと自負して

事業概要

当地域は、書道用紙の需要減などにより産地規模が縮小する中、平成13年世界で初めて球形に和紙を抄造する技術確立し、平成15年には立体漉き和紙技術により高度にデザインされた照明器具の発売を開始、同年グッドデザイン賞を受賞、翌年にはミラノの見本市へ出展した。

本事業では「地方にも世界に通じる文化がある」との信念で、デザインの単純化とコストダウンにより大衆市場への販路拡大を目指す。



売れる商品づくり

競争力 継ぎ目がなく自由曲線が可能な技術は、他社の類似製品に対し、デザイン性、新規性、本物志向という点で優位であるとともに、価格を抑えることにより更に競争力が高まる。

市場性 「一室一灯」のベース照明から、間接照明による「一室多灯」へと消費者意識は変化しており、市場規模は拡大傾向にある。

販路 セレクトショップやインテリアショップへ積極的にアプローチするとともに、WEBを核にしてBtoCへのチャネルの確立と顧客のネットワーク化をはかる。

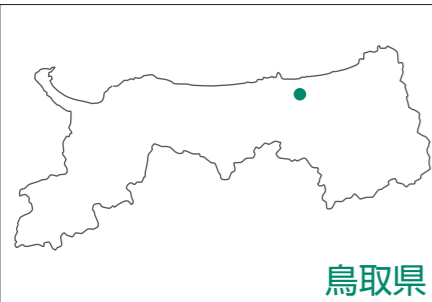
地域資源における

関係事業者との連携

研究開発・評価試験などについて、鳥取県産業技術センター、鳥取大学と連携して取り組む。

「今後も和紙の良さがもう一度見直されるような製品や技術を開発し、伝統ある青谷和紙の名を、国内外に積極的に発信していきたいと考えています」

Information



鳥取県

青谷和紙 株式会社

所在地 ● 鳥取県鳥取市青谷町河原 358-1
TEL ● 0857-86-0116
URL ● <http://www.aoyawashi.co.jp>
設立 ● 平成5年2月8日
資本金 ● 2,000万円
従業員数 ● 14人

● 会社事業内容
和紙の製造・販売。これまで技術的に難しいとされていた筒形紙、球形紙の製紙法の開発に成功。ライト等のインテリアとして活用されている。平成17年にはグッドデザイン賞を受賞し、翌年にはミラノの見本市へ出展を果たした。

【活用する資源】

因州和紙

【地域】
鳥取県鳥取市
【認定日】
平成19年10月12日
【認定行政庁】
経済産業省